

# 地域公共交通に関する資料について

平成29年2月17日

嘉麻市 庁舎・交通体系対策室

# 公表の経過

平成28年

12月7日(水)・議会への報告 各議員への報告(出前講座の開催やパブコメ内容等の説明)

12月15日(木)・行政文書配布 各行政区へ出前講座チラシの回覧

- ・HP通知 市のホームページに掲載

- ・各団体等へ通知 生涯学習課へチラシ配布と各種団体へ通知

- ・各団体等へ通知 高齢者介護課へチラシ配布と各種団体へ通知(嘉麻市老人クラブ連合会)

- ・新聞各社への記事依頼 新聞各社(朝日、西日本、毎日、読売新聞) ※掲載されていない

12月16日(金)・嘉麻市新庁舎施設整備等審議会へ報告 出前講座の開催やパブコメ内容等の説明

12月21日(水)・HP通知 市のホームページに掲載(パブコメの周知) ※平成29年1月25日(水)まで

平成29年

1月1日(日)・「広報嘉麻」配布 「広報嘉麻」平成29年1月号に掲載し、各行政区へパブコメ内容や出前講座の開催等 全戸配布

1月27日(金)・碓井地区行政区長会にて周知 碓井地区行政区長へ説明

# 出前講座の開催状況

出前講座参加者集計

(平成29年2月17日現在)

開催日時	説明を行った団体名	参加者数
平成29年 1月11日(水) 18時～	かま男女共同参画推進ネットワーク	12人
平成29年 1月13日(金) 10時半～	稲築才田行政区	14人
平成29年 2月 3日(金) 10時～	社会福祉協議会(稲築地区)	22人
平成29年 2月25日(土) 19時～(予定)	下牛隈行政区	(未定)
現在までの参加者数		48人

## 嘉麻市地域公共交通網形成計画（骨子案）に対するパブリックコメントの結果

### 1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成28年12月21日（水）から平成29年1月25日（木）まで
- (2) 意見提出者数 8名
- (3) 提出方法の内訳 持参 7名（※投函箱に投函）、メール 1名

No	年代	性別	ご意見
1	60代	女性	平成27年度実績が8,400万円の赤字と判明した時点で、運行の見直しがされていないことが理解しがたい。 税や交付金での運用が主であっても、企業であれば倒産している。企業ではないにしても、今後は収支に重点をおくべきだ。 例えば、バスを小型に変えるなど、必要な人に対して、ピンポイントで利用できる体制を整えるなど。
2	70代	女性	稲築才田行政区は、高齢者が多く、今までは何かとマイカーを利用されておられました。2～3年後には公共交通の利用者が多くなると思います。 嘉麻市を知っていただくために楽しみながらのバス利用、バスの中でのフレンド作りなど、また、ちがった利用法など行政区の中での懇親会やサロンで話し合っていきたいと思っています。
3	70代	女性	私は漆生南部に住んでおりますが、中々人が集まらず、話し合いをすることができません。少しずつバスを利用したいと思いながら、自分の便利ばかり考えておりましたが、嘉麻市の職員の方たちもがんばっていられるのだなと少し理解ができ、大変良かったと思いました。いろんな話を多く聞きたいと思いました。
4	90代	女性	時刻表は頂くも、はっきり理解出来ませんで申し訳ございません。はっきり言ってもう少し老人にも分かりやすい表を作ってくださいましたら、これから、しっかり表も見ますし、利用も、もう少しできると思います。 料金の事ですが、お金は少しでも支払う事は、いとませんが、乗継ができるようなプランをお願いします。期待しています。
5	80代	女性	週に2～3回利用しますが、便利が悪いなあと思うばかりでした。なんとなく理解できたような気がしました。もう少し利用できるように勉強します。
6	80代	男性	今から老人が多くなっていくために、バスの動きなどの説明が多くなっていくと思います。バスの時刻表をまた、出してください。今から自家用車の運転が出来なくなってきましたので。
7	50代	女性	市民が利用しやすい交通の整備を考えていただいていることが良くわかりました。 また、中継地点を作って乗継をやすくするため、牛隈地区に乗継拠点（ハブ）の設置を検討とありますが、できればカッホー馬古屏の近くにできないでしょうか。乗継の待合時間に買い物や休憩する場所にも利用でき、トイレもあります。馬古屏へ出荷している者としては、お客様も増えれば、うれしいことです。検討をよろしくお願いします。

No	年代	性別	ご意見
8	60代	女性	<p>基本的な方針の利便性「マイカーがなくても日常生活を送ることのできる公共交通サービスの確保」について、今後の嘉麻市の超超高齢化に伴い私も含め、マイカーを手放さざる負えない人たちの急増が予想されます。住民アンケートや各種団体アンケートでは、今実際に車がないことで何か困っているのか？それをどんなことでやりくりしているのか、見えてきません。財政状況の厳しい市において、公共の交通網を効果的に形成するためには、それを必要とする人の声が反映された計画であってほしいと思います。</p> <p>きめ細かな聞き取り調査（いきいきサロン、オレンジサロン、介護従事者等）を通じて一定単位の地域ごとの課題から目標を設定してください。また、地域で課題を共有し解決に向けた話し合いをする機会が必要だと思えます。</p>

※嘉麻市地域公共交通網形成計画（骨子案）に対し、収支に重点をおくことや既存施設との連携、きめ細かな聞き取り調査を行うなど貴重なご意見をいただきました。今回いただいたご意見を踏まえ、今後の交通対策に取り組んでいきたいと考えています。